

第1回横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
議題	(1) 会議の公開・非公開について (2) 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者公募要項（案）について ア 選定スケジュールについて イ 選定項目、選定方法、選定基準について ウ 応募法人に対するヒアリングの実施について (3) その他
日時	平成22年2月5日（金）午後3時00分～午後5時00分
開催場所	青葉区役所4階406会議室
出席者	加藤曾代子委員、金子義勝委員、小山恭男委員、鮫島毅人委員、志村進委員、戸田緋沙子委員、橋本泰子委員、藤平洋子委員、増田逸朗委員、三村徳子委員、柳原眞理子委員
欠席者	無し
傍聴人	無し
議事	1 開 会 2 委員紹介 3 指定管理者の選定及び選定委員会について ・事務局から説明 4 委員長の選出・委員長職務代理の指名 ・委員の互選により、委員長に橋本委員が選任された。 ・委員長の指名により、委員長職務代理者に増田委員が選任された。 5 議 事 (1) 会議の公開・非公開について ・「公募要項の審議」及び「応募法人ヒアリング終了後の審議」については、非公開とすることとした。 (2) 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者公募要項（案）について ア 選定スケジュールについて ・公募スケジュールについて、案のとおり承認された。 ・次回の選定委員会は、平成22年5月13日（木）に開催することとした。 イ 選定項目、選定方法、選定基準について ・選定項目について、審査の視点（例）に、別の視点を追加すべきという意見があり、承認された。 ・選定方法・選定基準について、案のとおり承認された。 ウ 応募法人に対するヒアリングの実施について ・プレゼンテーションは一法人ずつ行い、青葉区の地域ケアプラザの指定管理者に応募している法人は同席させないことにすべきという意見があり承認された。 (2) について、以下の意見が出された。 (委 員) 仮に、現在の運営法人が応募者の中で一番評価が高かった場合、今後何度でも指定管理者を続けることができるのか。 (事務局) 指定の回数を制限する規定はない。指定管理者の選定の際に応募があれば、その都度、委員会で判断をいただくことになる。 (委 員) 各地域ケアプラザの見学をしたいがどうか。 (事務局) 調整する。

	<p>(委員) 公開プレゼンテーションなので、最後にプレゼンテーションをする法人が、最初から傍聴することもできるとなると、プレゼンテーションの順番によって不平等にならないか。</p> <p>(事務局) プレゼンテーションは一法人ずつで、他の応募法人は部屋の外で待機し、同席できない形をとりたいと考えている。</p> <p>(委員長) 異議なしと認め、プレゼンテーションは一法人ずつとし、青葉区の地域ケアプラザの指定管理者に応募している法人は同席させないということにする。</p> <p>(委員) プレゼンテーションの時間は、限られているので、事前に応募法人の申請資料を読んでもらうということが良いか。</p> <p>(事務局) 事前に資料を読んで、疑問点をチェックしておいていただき、当日に臨んでいただきたい。</p> <p>(委員) 評価基準項目の「3 管理運営の項目(5) 環境への配慮」の審査の視点(例)に、シックハウスや農薬飛散防止対策等、化学物質への配慮についても記載してはどうか。</p> <p>(委員長) 異議なしと認め、その項目内に追記することにする。</p> <p>(委員) 施設使用料相当額が、施設によって異なるが、どのように算定されているか。</p> <p>(事務局) 施設規模(広さ)等によって額が異なる。</p> <p>(委員) 財務について、現在は指定管理料を使いきらなかった場合は、返還をさせることになっていると聞くが、次期も同じか。</p> <p>(事務局) 人件費など本来執行すべきものについては、返還をしてもらうが、効率的な運用等で事務費などに不用額が出た場合は、返還は不要。</p> <p>(委員長) プレゼンテーション当日の運営の詳細については、事務局に調整をお願いする。</p> <p>6 閉会</p>
特記事項	第2回選定委員会は5月13日(木)開催予定。